

## 2015年度「事業活動計画（案）」

### I. はじめに

◇「ネットワークSAITAMA21運動」（ネット21運動）は、個別企業の労使では解決がむずかしい、地域での生活・暮らしに関わる様々な悩みや問題の解決をはかるために、地域のNPOや市民団体と連携し、労働組合がもつスケールメリットと労金や全労済、生協などの協同組織の機能を最大限に活かして、支えあい・助け合いの地域ネットワークを結び広め、「共生の地域社会づくり」をめざす運動です。

2015年度も、連合埼玉・福祉事業団体はもとより、地域協議会や地域労福をはじめ、地域で活動するNPOとも連携・協働して、以下の事業活動を進めていきます。

#### 1. ライフサポート・プログラム

◇暮らし応援セミナー（出前講座）、◇未組織・生活困窮者等支援

#### 2. ボランティアサポート・プログラム

◇シニア人財バンク制度、◇自然環境ボランティア促進・自然環境体験事業

#### 3. NPOサポート・プログラム

◇NPO支援事業（物品助成等）、NPO体験ツアー・NPOインターンシップ

#### 4. 「ネット21運動」の普及・定着に向けた広報・宣伝活動

#### 5. 特別事業としての東日本大震災に関係する被災者・避難者支援活動

### II. 基本事業活動計画

#### 1. ライフサポート・プログラム

##### (1) 出前講座方式による各種「暮らし応援セミナー」の開催

出前方式（講師の派遣）で開催する「勤労者の生活・暮らしに役立つ各種セミナー」は連合埼玉の産別組織・加盟組合や地域労福協、埼玉シニア連合、労金（支店）など各組織で開催されるようになってきました。要望等に応じてセミナープログラムの拡充なども行い、各組織・団体での更なる利用促進をはかっていきます。

①連合埼玉構成組織・地域協議会、地域労福協、福祉事業団体、各OB組織、埼玉シニア連合、等での利用促進。

②「ライフサポートステーション・ネット21事務所」（久喜・川越・熊谷・大宮）と連携した「出前セミナー」の開催

③「暮らし応援・出前セミナー」プログラムの拡充（要望に対応できる講師の選定）

##### (2) 未組織、生活困窮者等への支援

未組織労働者、生活困窮者も含め、広い意味での勤労者のライフサポート（生活・暮らしサポート）の観点から、反貧困運動や多重債務・自殺防止対策・路上生活者への支援などに取り組み団体等と連携して、必要な支援を行っていきます。

具体的な支援内容については委員会で検討、確認して実施してまいります。

#### 2. ボランティアサポート・プログラム

##### (1) 「シニア人財バンク」の活動

・「シニア人財バンク」は、自分の特技や趣味を活かし、ボランティア活動などを通じて地域社会に「貢献したい、参加したい」と思っている50才以上の方に登録してもらい、登録者にボランティア活動、NPO活動などを紹介・案内する制度です。

現在の登録者（名簿上登録者51名）には、NPOインターンシップへの参加案内

を行っています（2014年度は2名に参加いただきました）。

- ・シニアのためのセミナーの開催や、セミナーと連携したシニア人財バンクへの登録、登録者への情報提供の方法など、検討していきます。
- ・運営については、さいたまNPOセンターと連携して行います。

#### (2) 自然環境ボランティア促進、自然環境体験事業

- 1) 自然環境のなかでの、親子自然環境体験・ボランティア体験の実施（尾瀬）  
夏休み・親子をキーワードとしつつも、夫婦などファミリーも対象とする自然環境体験、ボランティア活動（ゴミ拾い）など企画していきます。

※予定日【7月25日(土)・26日(日)】

昨年に引き続き、尾瀬高原ホテル前泊（25日）での企画を進めます。

（計40名規模：スタッフ含む）

- 2) NPO法人ときがわ山里文化研究所と連携した自然体験の実施  
夏休み親子自然体験教室（山の学校 in ときがわ）

※予定日【8月1日(土)・2(日)】

※1日を震災支援特別事業として位置付け（予算ベース）実施します。

### 3. NPOサポート・プログラム

- (1) 地域で活動・活躍するNPO等の支援と連携を目的とする物品等助成事業

①NPO応援・物品助成事業（パソコン寄贈：推薦・応募方式）

②NPO応援・小額助成事業（NPO、施設などへの少額物品等の寄贈：推薦方式）

（※構成団体、地協・地域労福協、地域事務所、さいたまNPOセンター等の推薦が基本）

- (2) NPO活動への理解と具体的な参加（社会参加）をサポートする事業

・これまで、「NPO訪問ツアー」及び「勤労者のためのNPOインターンシップ体験事業」を行ってきましたが、参加者の減少傾向などを踏まえ、この事業の趣旨と経験を活かしつつ、新たな取り組みを検討し実施していきます。

・具体的には、団塊の世代の完全引退も意識した「地域デビュー」のためのセミナーや「地域NPOの訪問、インターンシップ体験の案内」などをメニューとする「地域連携型セミナー」を、さいたまNPOセンターとの協働事業として企画・実施していきます。

<参考>

「NPO訪問ツアー」

・まずは役員自らが地域で活動するNPOを“知ろう・見よう・学ぼう”との考え方でスタートした事業です。

・「勤労者のための、NPOインターンシップ体験事業」

シニア人財バンク登録者や、連合埼玉及び構成組合、福祉事業団体等に案内してボランティア活動やNPOに興味がある人、今後の仕事や退職後のために役立てたい人等を募集して、NPOで3日間体験してもらう事業です。

### 4. 「ネット21運動」の普及・定着に向けた広報・宣伝活動

- (1) 「ワンコイン（500円）運動」展開による、「ネット21運動」とボランティア・カードの普及拡大

<\*2015年度版ボランティア・カードもA・B2種類のカードを展開しました>

- ① 各組織・団体での年間を通しての勉強会・説明会の促進
- ② NPOや外部団体・一般市民への「ボランティア・カード」の積極的な展開
- ③ ネット21事務所での相談者・訪問者などへの「ボランティア・カード」のPR

- (2) 「協賛企業」、ボランティア・カード契約店の拡充。  
県内を中心に、飲食店やレジャー、福祉サービスなどを提供する企業・団体との契約拡大に努めていきます。
- (3) 「ネット21運動」の広報・宣伝活動の強化
  - ・見やすい、わかりやすいHP、タイムリーな情報アップ  
(契約企業のサービス情報、活動紹介・パソコン贈呈の公募、活動報告 等)
  - ・「埼玉労福協だより」、「マンスリー」等による「ネット21運動」の紹介
  - ・各構成組織・団体等での「出前講座」の利用促進(ネット21運動のPR)

#### 5. 特別事業：東日本大震災に関する被災者・避難者支援活動

2011・2012年度は、「ネット21運動」から支援金を拠出して、県内避難者を中心に様々な支援活動を行いました。2013年度からは「ネット21運動」の特別事業として、家族の絆づくり、子育て支援などをコンセプトに、お茶摘み体験、ときがわ山の学校、ママランチ会、等を実施しました。本年度も、特別事業として実一般参加者型での実施など検討していきます。

- (1) 親子・家族自然体験(山の学校) ※予定日【8月1日(土)・2日(日)】
- (2) 子育て支援：ママランチ
- (3) バーベキューファミリー交流会 in サイボクハム

以 上